

令和5年度 東北風景街道協議会現地視察 【十和田奥入瀬浪漫街道】

団体の活動の質的向上を目的に、東北風景街道協議会委員による現地視察と意見交換会を実施

- ・ 実施日：令和5年12月6日(水)
- ・ 参加委員：(一社) まちの魅力づくり研究室 理事 堀 繁 氏

① 現地視察

堀委員および参加者全員で、あじさいロード、法量のイチヨウ、奥入瀬溪流石ヶ戸休憩所、道の駅奥入瀬などの現地を巡り「景観整備と計画づくり」「関連施設との連携」「どのように収益事業につなげるか」等についての委員のアドバイスをいただいた。



奥入瀬溪流石ヶ戸休憩所



道の駅・奥入瀬ろまんパーク

② 意見交換会(参加委員等の意見)

<堀委員>

- ・ 当ルートでは、寛いで記念撮影をしたくなる場所、楽しく休む場所など、人を「もてなす」整備が少ない。市街地でも、国立公園でも「もてなす」整備が重要である。
- ・ 売り上げは滞在時間に正比例しており、人を誘い、ゆっくり寛げる「滞留拠点」を作ることが地域活性化に繋がる。
- ・ 情報発信は紙媒体よりもSNS(電子媒体)の方が効果的である。



意見交換会の様子

③ 今後の展開

今後は、今回のアドバイスを参考に、奥入瀬溪流のバイパス完成に合わせてルートの景観整備を進めていく予定である。

十和田奥入瀬浪漫街道（青森県）

十和田奥入瀬浪漫街道は、新幹線七戸十和田駅を起点として国道4号、45号、102号、394号を含む総延長約120kmのルートである。このエリアは、自然景観の豊かなところで、十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田連峰などの自然資源と十和田市現代美術館などの文化資源がある。



十和田奥入瀬浪漫街道

今回、奥入瀬溪流にいたる十和田市官庁街通りから奥入瀬入口まで約25kmの景観整備範囲の地域資源を視察した。

視察場所① あじさいロード

平成21年度に国道102号沿線が日本風景街道に「十和田奥入瀬浪漫街道」として登録されたことを機に、あじさい等を植栽し、この街道を地域のシンボルとして景観形成していくこと、新たな観光資源の創造と地域に対する誇りと愛着を醸成することを目指している。

【位置図】



視察場所② 法量のイチョウ

樹齢約1100年、樹高約33m 幹周約14.5m。イチョウの巨木としては、日本で4番目の大きさである。国にも天然記念物指定されている（青森県内では2番目）。現在、法量のイチョウを中心に黄金の郷を計画している。



視察場所③ 奥入瀬溪流石ヶ戸休憩所付近

石ヶ戸休憩所周辺は、道路の余裕幅が広く設けられている空間となっている。「石ヶ戸の瀬」という流れの名所もあり奥入瀬溪流でも観光客の多い箇所となっている。また、「苔岩」と呼ばれる大岩が遊歩道沿いにあり、蘚苔類や地衣類に覆われているため苔岩とよばれている。

奥入瀬溪流石ヶ戸休憩所は、散策出発点である。今後、バイパスのトンネルの開通にむけ、周辺の景観整備や滞留拠点づくり、道路沿いの柵の改善を行い、多くの人を誘う工夫を検討していく。

